

ナバリスト 19

林 みち子 さん | 助産師相談室 いのちのかがやき

はやし・みちこ ● 助産師歴 27 年。2 児の母。森川病院で 8 年間勤務し、約 800 人の分娩介助に携わる。現在は名張市と伊賀市で産後の授乳育児相談を中心に活動。子どもから大人まで、「いのち」のすばらしさを伝えようと、全国各地で年間 120 件にのぼる講演を行っている。



講演で手渡す折り紙には、命のはじまり「受精卵」を表す小さな穴が…



「親を選んで生まれてきたあなたたち。自分の道を精一杯進んで」とエールを送る



今は大学生となった娘と高校生の息子。育児経験を交えての講演が共感を生む

生きているだけで百点満点

看護実習で初めてお産を目の当たりにし、苦しむ妊婦さんの背中を必死でさすり続けました。「あなたのように支えてくれる人がいるなら、もう一人産んでもいいかな」。その一言が助産師となるきっかけとなり、病院勤務の 8 年間で 800 人もの分娩介助を経験させていただきました。この世に生まれるいのちの温かさを一生忘れません。

私自身のお産はというと、思い描いた理想とはほど遠いものに。「うまくいかなかった」と、悔やむうちに、育児がしんどくなっていった…。両親をはじめ、助けてくれる人がいなかったらと思うと、ぞっとします。それに、理想を追い求めると、自分を追い詰めてしまうのだと痛感しました。

育児の失敗談を話せば、笑いと共感を呼びます。「ああ、これでいいんだ」と思ってたほしい。素の私をみてもらって、『ただしい』育児より『ただしい』育児をしましょうよ』と呼びかけています。学生などには、「ただしい人生」以上に、「たのしい人生」を歩んでほしいという話をします。「自分に自信が無い」、「やりたいことを諦める」。そんな子たちに「これからの人生、いっぱい楽しいことがあるんだよ」って伝えたいんです。

直径 0.13 ミリの受精卵は、まさに奇跡の結晶。生まれてきただけで、周りを幸せと喜びに包んでくれるんです。もう、生きているだけで百点満点なんですよね！皆さんも、自分で自分を認めてあげてほしいな。あなたが笑顔になれば、きっと周りの人も笑顔になれるんですから。

編集後記

4 頁の赤ちゃんは三男で、今はもう小学生。大学生の長男も中学生の次男も、思えば数えきれない人の助けで育ってきました。頼れる人がたくさんいるので、不安なこともなんとかなる！（たか）

全日本中学陸上 2000 m で 2 連覇の北村さん。ボルダリングで国体に 4 度目の出場をする杉本さん。活躍する学生に触発され、自分も運動しようと思いついた、はや数カ月が経過…（くま）

「地面に寝たり、雪に突っ込んだり…子どもの謎の行動は、真似したら楽しさが分かる」と林さん。変なことで…とあきれられるのではなく、子どもと一緒に楽しめる人になりたいですね（はる）

暗がりに浮かび上がるやさしい光にはこだわりがたっぷり。竹雀の皆さんの思いを知って滝あかりがますます楽しみになりました。ぜひ竹雀のインスタグラムで他の作品も見てみて（はな）



名張のひと・活動

